

全鉄連流通動態調査結果表 2021年9月分

(2021.10.27)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		8月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	
異 形 棒 鋼	東京	5,999	92.7%	37,028	112.7%	37,251	111.8%	5,776	96.3%	
	大阪	2,656	101.2%	15,545	99.5%	15,756	101.1%	2,445	92.1%	
	愛知	4,425	103.6%	4,935	123.6%	5,071	132.2%	4,289	96.9%	
	計	13,080	97.9%	57,508	109.6%	58,078	110.1%	12,510	95.6%	
鋼	山 形 鋼	東京	17,365	100.8%	7,835	109.2%	7,329	104.1%	17,871	102.9%
		大阪	21,745	100.6%	7,978	105.7%	8,060	108.8%	21,663	99.6%
		愛知	8,631	96.5%	3,884	105.0%	4,647	115.9%	7,868	91.2%
		計	47,741	99.9%	19,697	106.9%	20,036	108.5%	47,402	99.3%
	溝 形 鋼	東京	13,509	100.2%	5,952	97.8%	5,785	95.6%	13,676	101.2%
		大阪	11,246	101.5%	5,351	103.0%	5,630	112.0%	10,967	97.5%
		愛知	6,266	106.4%	3,449	95.8%	3,896	120.9%	5,819	92.9%
		計	31,021	101.9%	14,752	99.1%	15,311	107.0%	30,462	98.2%
	H 形 鋼	東京	29,844	100.7%	15,299	105.5%	15,313	107.0%	29,830	100.0%
		大阪	43,348	96.6%	24,504	124.9%	23,951	113.4%	43,901	101.3%
		愛知	13,997	86.5%	9,172	95.4%	11,452	97.1%	11,717	83.7%
		計	87,189	96.1%	48,975	112.0%	50,716	107.4%	85,448	98.0%
合 計		165,951	98.2%	83,424	108.3%	86,063	107.6%	163,312	98.4%	
コ ラ ム	東京	7,756	99.3%	2,219	101.8%	2,737	122.6%	7,238	93.3%	
	大阪	8,995	87.0%	3,864	217.9%	3,978	127.8%	8,881	98.7%	
	愛知	1,535	95.6%	1,022	108.4%	1,165	115.0%	1,392	90.7%	
	計	18,286	92.6%	7,105	145.1%	7,880	123.9%	17,511	95.8%	
軽 量 C 形 鋼	東京	3,379	98.1%	2,243	133.3%	2,181	124.8%	3,441	101.8%	
	大阪	2,845	99.1%	1,781	126.2%	1,713	119.2%	2,913	102.4%	
	愛知	2,768	98.2%	1,203	141.0%	1,104	122.0%	2,867	103.6%	
	計	8,992	98.4%	5,227	132.4%	4,998	122.2%	9,221	102.5%	
総 計		206,309	97.7%	153,264	110.8%	157,019	109.7%	202,554	98.2%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪19 愛知13 合計62社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。